

高岡市立東五位小学校 学校だより

誓 提 樹

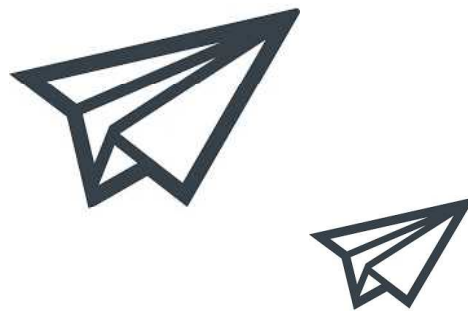
平成30年 6月号 6月15日 発行

夢に向かって 飛んで行こう

校長 秋野 信義

「365日の紙飛行機」(AKB48)の歌詞をご存じでしょうか。何年か前のNHK朝の連続ドラマのテーマ音楽でした。歌詞の一部を紹介します。

人生は紙飛行機
願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り
ただ進むだけ
その距離を競うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番 大切なんだ
さあ 心のままに
365日



この歌では「願い」をもち、「どう飛んだか どこを飛んだのか」が大切だと歌っています。私は、自分の願いや夢を実現するためにコツコツ努力を続けること、そしてその結果より、過程が重要であることと受け止めました。願い事はうまくいかないことも間々あります。そんな時、この歌詞はモチベーションを高くもち続けることに役立つのではないかと思います。

さて先日、市内各校の先生方が参観して、6年生の総合的な学習の時間の研究授業が行われました。学習課題は「夢プロジェクト」と題してです。自分の夢をしっかりともちその実現へのプロセスを考えてみようという内容です。グループやクラス全体の話合いでは、次々と感性豊かな発言が出てきました。少し恥ずかしがりの子供たちでしたが、事前に家族にインタビューするなど「夢」について自分なりの考えをまとめていたので、今回は発言したくて仕方がなかったようです。授業の終わり頃、こんな意見が出されていました。

A児；夢は難しい方がいい。その夢に向かって努力していけるから。

B児；どんな努力をすればよいか、しっかりと調べたり、インタビューしたりしたい。

C児；〇〇になるという夢ではなく、人の役に立つという夢なので、どんな職業が人の役に立つのか調べてみたい。

自分の将来について考える学習でしたが、なりたい職業だけではなく、夢をもつことが心の成長にも大きくつながることに気付いたようでした。そして、そのための家族との会話が子供たちの意欲を高め、活気ある授業となりました。これからの未来を担う子供たちが大きな夢に向かって、一步一步進む姿をぜひ応援してください。

私たち教職員も安心・安全な学校作りを目指し、一致協力して教育活動に取り組んでいます。今後も家庭や地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「家庭学習がんばり週間」に寄せて

なかよし担任 新鞍 香織（研究主任）

昨年までも、保護者のみなさんには児童が家庭学習に取り組めるよう様々なご支援をいただきました。今年度、学校の重点は「根気強く取り組もう」です。「目当てをもって取り組むこと」「『教えてもらおう』ことを待つではなく進んで学ぶこと」「学習規律をしっかりと身に付けること」などです。簡単に言うと（言うてはいけませんが）「1年間がんばるんだもの、粘り強く何か力を身に付けて大きくなろうね」でしょうか。

学習習慣づくりのポイントとして意外に大切なのは「場所」と「家族との距離」です。勉強場所と行っても立派な勉強部屋が最適とは限りません。お気に入りの場所を決めて家庭学習をやるのが思いがけない効果を生むのです。怠けていると声に来て、がんばっているところを見てもらえる、質問するとヒントをくれる。時にはジュースも。そんな場所は「ダイニングのテーブル」がお勧めだったりします。

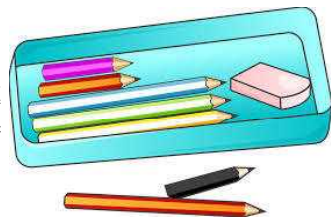
富山県教育委員会のリーフレット「家庭学習のすすめ」によると、低学年は、学ぶ喜び「子供に寄りそって、やる気をおこす」こと。中学年は、学ぶ習慣「認めてほめて自信をつける」こと高学年は、自主性・主体性を「見守って伸ばす」ことが力を伸ばすポイントとして挙げられています。子供たちも家庭で褒められたことや一緒に学習したことをうれしそうに話してくれることがよくあるのです。今後も、ご家庭での見守り、励ましをお願いします。



ぶち学校ニュース

「筆入れの中」にご配意を

学校では、基礎基本の力を高めるため、学習習慣や生活について、指導を進めています。校内でも筆入れ自己チェックを行っています。これは「持ち物検査」ではありません。やはり、筆入れは学習の健康のバロメーターなのです。例えば、短かすぎる鉛筆を学校に持ち込んで窮屈そうにノートを取っている児童がよく見られます。親指と人差し指で英語の「L」をつくってこれよりも短い鉛筆はもちにくいので、ノートを取るスピードが落ちてしまいます。キャップを付けるか家で使うように指導しています。鉛筆の硬さもその子にあった書きやすい硬さが確実にあります。2BやHB一辺倒では決してありません。また、やる気が落ちてくると筆入れの中は不要品が増えるのも事実です。どうぞご家庭でもお子さんの筆入れの中にご配意下さい。



ファイヤーク・イン・東五位

6月8日、高岡消防署のご協力により、ファイヤーク・イン・東五位が開催されました。消火体験や煙中体験、救命法など普段ではなかなかできない学習を親子で学ぶ貴重な体験となりました。体験コーナーでは少年消防クラブの児童が解説を受け持つなどの場面もありました。煮えたぎった天ぷら油が発火する様子やあやまって水をかけた場合の爆発的な火災など、貴重な実験も見せていただきました。今後も防火の心を伝えていきたいと思ひます。



安全マップの見直しにご協力を

新潟で下校途中の児童が巻き込まれた痛ましい事件は記憶に新しいところで、地域安全協議会からも児童の通学路の安全の皆様からもご心配いただいているところです。このたび2年ぶりに安全マップの見直しを計画しています。

前回のマップもPTAの皆様が集めてくださった情報や画像写真を元に作成したのですが、今回も危険箇所の報告や新たに「帰り道に一人になりやすい道や物陰」にも視点を当て、ご自宅付近や通学路を見直していただきたいと思ひます。短いコメントや画像・写真をPTA会員の方から募集し、夏休み開始までにまとめたいと思ひますが、どうぞご協力をよろしくお願ひいたします。

